

みおき

Mizuki Dayori

便り

特別地方公共団体
神奈川県内広域水道企業団 広報誌

NO.30

2018.12

未来につなごう！
広域水道設立50年



50th anniversary

シリーズ 企業団の歴史を知ろう② 日本の近代水道の 始まりは？



写真の後ろの建物は1915年にできた西谷浄水場。当時の設備の一部が、国の登録有形文化財として保存されている。この建物の中に配水池に送る水の量をコントロールする制水弁が設けられていた。

A wide-angle photograph of a large lecture hall filled with an audience. The audience is seated in rows of blue upholstered chairs, facing a stage at the front of the room. On the stage, there is a large projection screen displaying a presentation with a landscape image. To the left of the screen, a person is standing at a podium. The room has a high ceiling with recessed lighting and wood-paneled walls.



ヘンリー・スベンサー・パーマー
(1838-1893)…「日本の近代水道の父」と呼ばれる英国人技術者。横浜水道の後も函館水道や横浜港をつくるなど、日本で多くの業績を残しました。野毛山公園(横浜市西区)に銅像が立っています。



横浜水道創設当時の用水取入所。
旧津久井郡三井村。



1910年頃の路上の獅子頭 共用栓。

画像：横浜水道記念館展示より

神奈川県の水道の歴史

1859年
まだ101戸しか住んでいなかった横浜に、港が開かれる。

1873年
横浜商人によって、木樋水道(もくひすいどう)が完成する。

1878年
コレラなど伝染病が全国的に発生。水の衛生の改善を国が指示。

1885年
パーマーの指導のもとで水道の建設が始まる。

1887(明治20)年
横浜に日本初の近代水道が完成。給水開始。

1889年
横浜町から横浜市に変わる(横浜市の人口11万6193人)

1890年
水道の法律ができる。水道の経営が神奈川県から横浜市に移される。



1915年西谷浄水場完成。

1922年
横須賀市営水道完成。
1921年
川崎町営水道完成。

「近代水道」ってどういう意味ですか？

大がかりな過装置を使って飲み水をつくり、鉄製の管を使って圧力を加えて送る水道のことです。鉄管は圧力に耐え、高い所にも水を送れます。また、蛇口によって、ほしいときにほしい量のの水を使うことができます。

どうして近代水道が必要になったのですか？

それ以前の横浜では、木桶をかついで売り歩く「水売り」から郊外の湧き水を買ったりしていました。多摩川の用水路から木の樋(とい)で水を運んでくることに挑戦した商人たちがいましたが、泥や塩分が混じってなかなか上手いかず、わずか9年で事業終了に。埋め立て地だった横浜は、井戸を掘っても塩分を含んでいて飲み水にはできず、水不足に悩みました。また、きれいな水が確保できず多くの人が病気になってしまいました。



当時の水源(左)と、水売りの様子。

なぜ横浜が最初だったのですか？

開港後の横浜は、人口も増え街が急激に大きくなったため、たくさんの人が水を求めていました。当時、日本にはまだ鉄の水道管を作る技術がなく、世界で最も進んでいたイギリスの水道技術を取り入れることにし、イギリス人のH.S.パーマー氏に水道を作るようお願いしました。

水はどこから運んだのですか？

相模川と道志川の合流地点から取水することに決めました。現在の相模原市緑区三井に用水取入所をつくり、約44km運んで、野毛山貯水場でろ過してから、野毛地区や桜木町などへ水を送っていました。

参加した小学生リポーターたちの感想

学校では今の水道のことを勉強したけど、今回は歴史も分かった。パーマーさんの業績も良く分かりました。
水道が出来るまでのたくさんの人の苦勞を知ることができました。昔は大変だったんだなあと思いました。
古い水道のいろいろなものが見れてよかった。今は地震に強い水道管になっているという話が興味深かった。
ヨーロッパではライオンが水の守護神だったんですね。何だか親しみがわいた気がします。

企業団 NOW ～安全・安心な水道用水の安定的な供給に向けて～

菊名ウォータープラザまつりに参加しました

10月13日、横浜市水道局イベント「第11回菊名ウォータープラザまつり」に参加しました。会場には、横浜市水道局のはまピョンそして当企業団のウォービーをはじめ、さまざまなキャラクターが集合。ブースでの凝集実験では、水の中の汚れがまとまっていく不思議な様子に、皆さんとても驚いていました。当企業団では、このようなイベント出展などの広報活動を通じて、水の大切さや水源保全についてPRしていきますので、ぜひお越しください。



丹沢荘閉館のお知らせ

当企業団の宿泊研修所「丹沢荘」は、昭和55年に開業して以来、水没地権者の皆様をはじめ一般利用のお客様など多くの方々に愛顧頂いて参りましたが、諸般の事情により9月2日をもちまして営業を終了いたしました。今後は、譲渡先の民間事業者によって、新たなコンセプトの宿泊施設として、リニューアルオープンする予定です。



優良工事表彰式を開催しました

当企業団が前年度に発注した建設工事を対象に、特に優れた施工を行った企業を表彰する優良工事表彰式を、9月21日(金)に開催しました。

今年度は、大野土建株式会社が施工した『相模原浄水場沈でん池耐震補強工事(その3)』が選ばれました。近年、災害が起きるたびに、ライフラインとしての水道の重要さとその備えが注目されています。安全安心な水道水の安定供給のために、より一層の安全管理、良好な施工をさまざまな企業と協力して行っていきます。



館に展示されています。

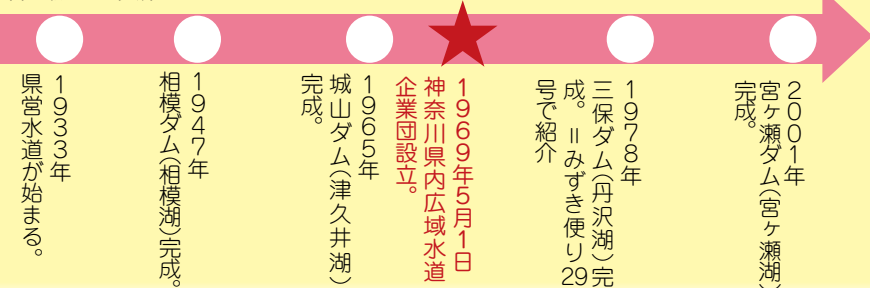


市内各所に設置されていた イギリス製の共用栓

共用栓には、ヨーロッパで水を司る神様として崇められた獅子(ライオン)の顔がデザインされていました。日本製の共用栓が作られるようになってからは、龍のデザインが主流になりました。日本では龍が水の神様とされていたのです。空想上の動物である龍(蛇)にちなみ、今でも「蛇口」という言い方が残っています。

獅子頭共用栓：共用栓は多くの人が共同で使用する蛇口のこと。ライオン(獅子)の顔がデザインされていたのでこう呼ばれました。

宮ヶ瀬ダムの完成まで



横浜市水道局 横浜水道記念館

日本で初めての近代水道の創設(明治20年)、そして現在に至るまでの歴史を資料・映像展示などで紹介しています。併設する技術資料館では、各時代の水道管やメーターなど設備や機械を展示。また、技術の移り変わりをわかりやすく紹介しています。入館無料。

詳しくは横浜市水道局お客さまサービスセンターへ ☎045-847-6262

<http://www.city.yokohama.lg.jp/suidou/kyoku/torikumi/suidou-pr/kinenkan/>

横浜市保土ヶ谷区川島町522



西谷浄水場の本館だった。1987(昭和62)年、近代水道創設100年を記念して、水道記念館としてリニューアルされた。



進化する水道管

水道の歴史の中で、水道管はさまざまな進化を続けています。その一部を紹介します。

素材



木樋の水道管。



イギリス製の鉄の水道管(創設当時)。



日本で作られた鋼の水道管。



ダクタイル鋳鉄管。強さや柔軟性に優れています。

継手



木樋の継手の部分。管と管をつなぐだけのものでした。



ペローズ(蛇腹)型伸縮管継手。継手部分を蛇腹のようにすることで、地盤沈下・地震による衝撃を吸収します。



強くてもしなやかなダクタイル鋳鉄管の継手。地震を始め、さまざまな自然災害にとっても強いです。

〈シリーズ〉 水源のまち・流域のまち

Vol.5 足柄上郡 中井町

中井町は、神奈川県南西部、人口約9,500人の緑豊かな町です。平塚市、小田原市、秦野市、二宮町、大井町と境を接し、面積はおよそ20km²、町の北部に東名高速道路秦野中井インターチェンジがあり、都心から車で約1時弱という立地です。起伏に富んだ大磯丘陵の一角にあり、北は丹沢山地、西に富士山を望む自然豊かな地で、南側に望む相模湾の影響を直接受け、冬は暖かく、夏は涼しい、住みやすい土地柄です。

110年前の1908(明治41)年、中村と井ノ口村が合併し中井村に改称「なかい」が誕生しました。今年はなかい誕生110年の節目の年に当たり、「110年のまちづくりから、今新しい未来へ」を目標に、町の魅力を再確認し、町内外に発信するための記念事業が進

行中です。

豊かな自然を背景に、古来より農業が盛んでしたが、平成に入ると、東名高速道路のインターチェンジ付近に工業団地ができ、産業構造にも変化がみられるようになりました。

そんな中井町を象徴しているのが「里都(さと)まち」というキャッチフレーズです。

田舎すぎず都会すぎない、住む人にも、訪れる人にもちょうどいい町、という意味で、温もりと優しさのある暮らし、便利で都会的な一面を併せ持つ中井町の魅力を表現しています。

現在「里都まち」をキーワードにした歌や動画が作られるなど、さまざまなシティブロモーションが展開されています。特に、交流と憩いの場として中井中央公園内に「なかい里都まちCAFE」とその外周に「里都まちガーデン」が整備され、「里都まち交流拠点」として町の内外から世代を問わず多くの人が訪れています。

一方、町の農産物などを使った特産品の開

発を進めており、中井町のブランドとして認証した「なかいの逸品、太鼓判!」が誕生しています。

里山に広がる鮮やかな森林は豊かな水源を守り、次代に伝えたい大切な財産です。これまでも中井町では、水源環境や里山環境の保全に努めてきました。現在も、町民一人ひとりの理解を深め、自然との共生を実現できるようさまざまな取り組みを進めており、「里都まち♥なかい」は、より住みやすく、訪れやすい町として、歩みを進めています。



里都まち交流拠点(写真提供:中井町)



横須賀市上下水道局 水のポスター すばらしい作品が集まりました

横須賀上下水道
イメージキャラクター
アクアン

横須賀市上下水道局では、子どもたちに水への関心や親しみを持ってもらうために、毎年夏休みの課題として市内在住・在学の小学生を対象に「水のポスター」を募集しています。今年は45校、3,014点の応募がありました。

その中から、学年ごとに最優秀賞1点、優秀賞3点、



表彰式



ポスター展

佳作10点を選び、その作品を市内ショッピングセンターなどで展示いたしました。今後は横須賀市上下水道局の広報活動などにも使用させていただく予定です。

なお、最優秀賞、優秀賞についてはホームページで公開しています。

どの作品も、子どもたちの一生懸命さが伝わってくるすばらしい作品ばかりです。是非ご覧ください。

横須賀 水のポスター



神奈川県企業庁 あなたを狙う悪質な手口

県営水道キャラクター
カッピー

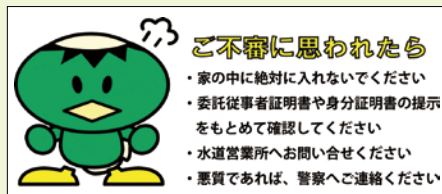
作業服を着た不審な2人組の男が「水道局の職員です。検査にきました。」などの嘘をついて

室内に上がりこみ、お客さまが目を離したすきに現金を盗むなどの被害が発生しました。

不審者は、家に1人でいたお客さまを狙い、水道局の職員を名乗って家に上がり、1人が水漏れの点検とだましてお客さまと2階に行き、トイレの水を何度も流してお客さまの注意を引きつけている間に、もう1人が1階を物色して現金を盗む悪質かつ巧妙な手口です。

県営水道ではお客さまからのご依頼や事前にお知らせをしない調査や訪問はいたしません。

少しでも不審に思われたら、絶対に家の中に入れないでください。



不審者にご注意ください

悪質な業者や詐欺にご注意ください



川崎市上下水道局 山北町との 交流事業を実施しています

川崎市上下水道局
キャラクター
ウォータン

市民の方に水源地域に対する理解を深めていただくことを目的に、川崎の水源地域のひとつである山北町と交流事業を行っています。

この「山北町—川崎市交流事業」は毎年夏と秋に開催しています。今夏に開催した交流事業では、水源林の保全活動として間伐や下草刈りを行い、子どもたちにはヤマメの掴み取りなども体験していただきました。また、10月27日には秋の交流事業を開催し、青空の広がった午後は屋外で薪割りを行いました。薪割りは毎回ご好評をいただいております。この日も普段体験できない斧を用いた作業に参加者の方は汗を流していました。

この交流事業は、来年度も広報紙等で市民の方を対象に参加者を募ります。ぜひご応募ください。



薪割りの様子

山北町—川崎市交流事業



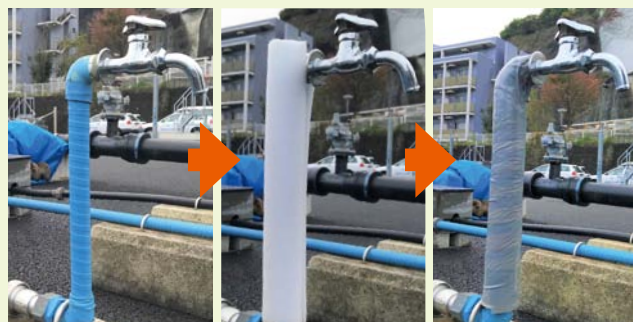
横浜市水道局 気温低下による水道管の凍結に ご注意ください

横浜市水道局キャラクター
はまビョン

これからの時期、日を追うごとに冷え込みが厳しくなりますね。気温が氷点下になると屋外で露出している水道管が凍ったり破裂したりすることがあります。

凍結を防ぐためには、写真のように、水道管が直接冷気を受けないようにしましょう。

なお、水道管が凍ってしまった場合は、自然に溶けるのを待つか、凍結部分にタオルなどを被せて、ゆっくりとぬるま湯をかけてください。急激な気温の低下に備えて、早めに対策をしておきましょう。



保温チューブの上にビニール等を巻いた状況

横浜市 水道管の凍結防止

平成29(2017)年度

決算の概要

■用水供給先

神奈川県、横浜市、川崎市及び横須賀市

■構成団体への供給水量実績

年間総供給水量

平成 28 (2016) 年度 485,094,850 m³

平成 29 (2017) 年度 506,694,850 m³

構成団体
全給水量の
51.2%

前年度比 104.5%

1日平均供給水量 1,388,205m³

■事業計画の着実な実施

水道用水の効率的な安定供給

施設老朽化対策ほか 約58億円

災害や事故に強い広域水道

地震対策ほか 約12億円

水道用水の品質向上

水質管理強化 約0.5億円

■経営基盤の強化

健全な財務体質の維持・強化。企業債（地方債）残高の縮減。業務の改善・効率化へ向けた取り組み。職員研修を通じた人材育成。

※詳しくは下記神奈川県内広域水道企業団のホームページをご参照ください。

水道水の生産に関する決算

収益的収支(消費税込み数値)

収入
463
億円

構成団体からの用水供給料金収入 421 億円

その他収入 42 億円

施設の維持管理に
に係る費用 160 億円

人件費 29 億円

支出
442
億円

減価償却費 218 億円

企業債(地方債)の
支払利息 35億円

収益的収支差額22 億円
(純利益)17 億円

施設の建設・改良に関する決算

資本的収支(消費税込み数値)

収入
40
億円

企業債 32 億円 出資金 8 億円

補助金 0.4 億円

収支不足額 △198 億円
減価償却等の損益勘定留保資金
等で補てんしました。

支出
238
億円

企業債償還金 179 億円

一般建設改良費
59 億円

※グラフ中の数字は端数処理のため、計において一致しない場合があります。

「水あれこれトーク」は今回お休みします。

プレゼント コーナー



「みずき便り」読者の中から、抽選で5名の方に企業団オリジナルの「やまなみ五湖のブレンド水」340ml缶1ケース(24本入)をプレゼントします。ご希望の方はハガキ、FAXまたはメールで、住所/氏名/電話番号/年齢/職業を明記の上、下記までお寄せください。その際、今号の内容へのご意見・ご感想も忘れずをお願いいたします。

応募締め切り: 2019年2月28日(木) 必着 ※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます

応募先: 〒231-8445 横浜市中区太田町2-23 神奈川新聞社クロスメディア営業局内「やまなみ五湖のブレンド水プレゼント」係 FAX.045-227-0765 kokoku@kanagawa-np.co.jp

●プレゼントに関するお問い合わせは ☎045-227-0737 までお願いいたします。



《編集後記》 今号は、前号から始まった特集「企業団の歴史を知ろう」シリーズの第2回目です。

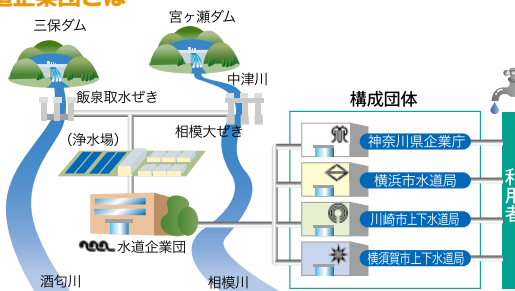
今回取り上げたのは「近代水道の始まり」でした。近代水道とはなにか、なぜ横浜に最初につくられたのか、ご理解いただけたでしょうか。

さて、企業団では、設立50周年に向けて「作文コンクール」を開催することとなりました。「水道をテーマとした作文」を神奈川県内の小学校4・5年生を対象に募集し、入賞者は来年6月1日開催の「みずきフェスタ2019」での表彰を予定しています。詳しくは次号のみずき便り第31号で紹介いたします！

(総務・広報係)

神奈川県内広域水道企業団とは

三保ダムと宮ヶ瀬ダムに貯めた水を浄水処理し、構成団体を通じて、利用者の皆様に、安全で安心な水道水を供給している「特別地方公共団体」です。



発行/平成30年12月 神奈川県内広域水道企業団
〒241-8525 神奈川県横浜市旭区矢指町1194番地

TEL.045-363-1111 (代表) FAX.045-363-1121
https://www.kwsa.or.jp

神奈川企業団

検索